

生活支援を考える部会 報告

● 本専門部会の活動の要約

令和4年度、本専門部会は市内にある指定特定相談支援事業所4カ所（サポート（狛江市社会福祉協議会）・みずき（足立邦栄会）・地域生活支援センターリヒト（さつき会）から2～3名の参加、狛江市福祉保健部福祉相談課相談支援係から1名の参加があり、月2回の頻度で実施した。

令和5年度になり、狛江市児童発達支援センター（雲柱社）から参加が再開した。

本専門部会は、相談支援事業所連絡会と同日に連続して実施しており、前半30分程度を「相談支援事業所連絡会」として情報共有を行い、その後、専門部会を実施している。会議時間は全体で2時間ほどである。

● 専門部会開催状況

期間：令和5年2月2日～令和5年6月15日（全10回）

実施日は原則第一・第三木曜日の10:00-12:00

1. 2月2日：家族の高齢化から親亡きあとの地域生活に安心感を感じられる支援に向けて（5）

（事例提出：サポート・司会：みずき・グラフィック：リヒト）
2. 2月16日：家族の高齢化から親亡きあとの地域生活に安心感を感じられる支援に向けて（6）

（事例提出：サポート・司会：みずき・グラフィック：リヒト）

3. 3月2日：家族の高齢化から親亡きあとの地域生活に安心感を感じられる支援に向けて（7終）

（事例提出：サポート・司会：みずき・グラフィック：リヒト）

4. 3月16日：2023（R5）年度年間計画の確認

5. 4月6日：様々な問題を抱えながらも「働きたい」ご本人を地域でどう支えていくか（1）

（事例提出：リヒト・司会：サポート・グラフィック：みずき）

6. 4月20日：様々な問題を抱えながらも「働きたい」ご本人を地域でどう支えていくか（2）

（事例提出：リヒト・司会：サポート・グラフィック：みずき）

7. 5月11日：様々な問題を抱えながらも「働きたい」ご本人を地域でどう支えていくか（3）

（事例提出：リヒト・司会：サポート・グラフィック：みずき）

8. 5月18日：様々な問題を抱えながらも「働きたい」ご本人を地域でどう支えていくか（4）

（事例提出：リヒト・司会：サポート・グラフィック：みずき）

9. 6月1日：様々な問題を抱えながらも「働きたい」ご本人を地域でどう支えていくか（5終）

（事例提出：リヒト・司会：サポート・グラフィック：みずき）

10. 6月15日：支援困難な障害児がいる家庭が地域で暮らしていくために（1）

（事例提出：みずき・司会：リヒト・グラフィック：サポート）

● 専門部会今後の開催予定

(1) 7月6日・7月20日・8月3日・8月17日

：支援困難な障害児がいる家庭が地域で暮らしていくために

（事例提出：みずき・司会：リヒト・グラフィック：サポート）

(2) 9月7日・9月21日・10月5日・10月19日・11月2日

（事例提出：サポート・司会：みずき・グラフィック：リヒト）

(3) 11月16日・12月7日・12月21日・2024年1月11日・1月18日

（事例提出：リヒト・司会：サポート・グラフィック：みずき）

(4) 2月01日・2月25日・3月7日・3月21日・4月4日

（事例提出：みずき・司会：リヒト・グラフィック：サポート）

● 2022（令和4）年度 自立支援協議会研修 報告

別紙「当日タイムテーブル」・「実施報告書」参照

・実施日：2023（令和5）年3月7日（火）13:30-17:00

・場所：あいとぴあセンター4階 講座室

- ・内容：野中式事例検討の実践方法（集合型事例検討に必要なファシリテーションの講義と演習）

● 相談支援事業所連絡会の活動

- ・原則第3木曜日の18時より事例検討会を実施している。

● 東京都相談支援従事者研修への協力

東京都が主催する相談支援専門員を養成する研修について、新カリキュラムとなった2020（令和2）年度より、「地域における実習」が組み込まれることになった。

これまでも、事業所連絡会相談支援部会として「実習拠点機関」に協力をしてきた。狛江市内在勤で主任相談支援専門員を有している3名の相談支援専門員が実習のお手伝いをしている。（狛江市内で主任相談支援専門員は3名おり、森田純司（サポート）・今村まゆら（リヒト）・東貴宏（リヒト）である。）

2023（令和5）年度は、6月より相談支援従事者現任研修が行われるが、参加人数に応じて、主任相談支援専門員が協力をしていく予定である。